

# まちづくり市民ワークショップ

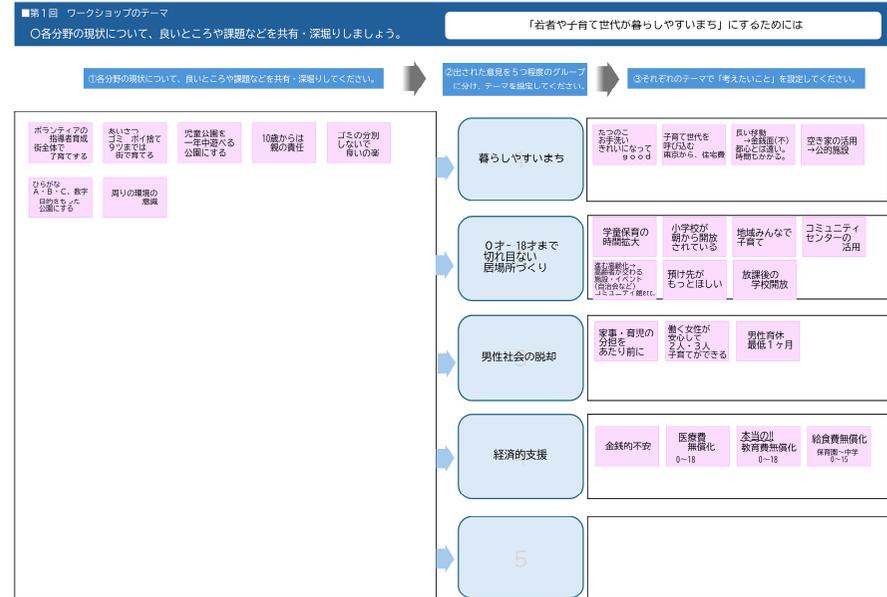
【第1回 報告書（概要版）】



7年10月  
龍ヶ崎市

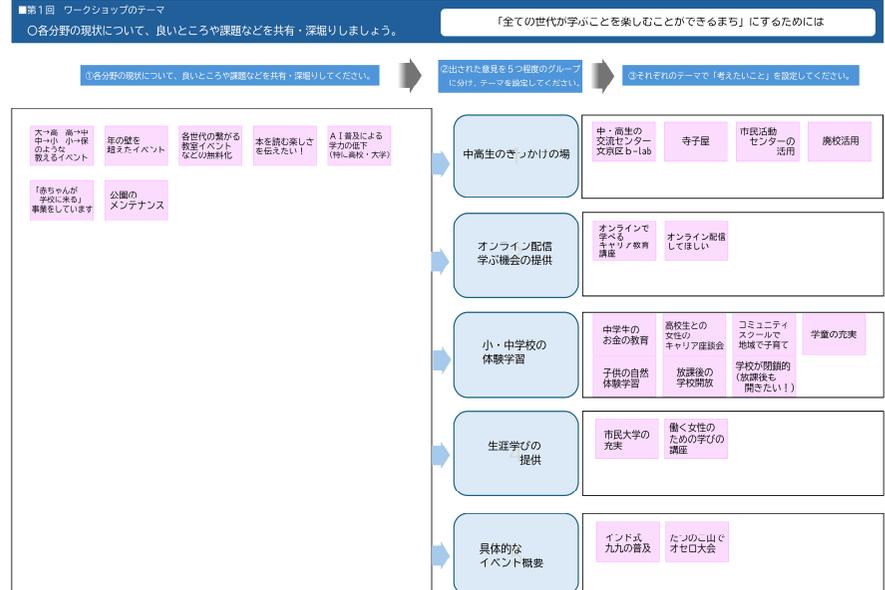
## ■グループAの成果①

■「若者や子育て世代が暮らしやすいまち」にするためには	
①各分野の現状について、良いところや課題などを共有・深掘りしてください	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの指導者育成。街全体で子育てする。</li> <li>・あいさつ、ゴミ、ポイ捨て。9ツまでは街で育てる。</li> <li>・児童公園を一年中遊べる公園にする。</li> <li>・10歳からは親の責任。</li> <li>・ゴミの分別をしないで良いので楽。</li> <li>・ひらがな、A・B・C、数字、目的をもった公園にする。</li> <li>・周りの環境の意識。</li> </ul>	
②出された意見を5つ程度のグループに分け、テーマを設定してください。	③それぞれのテーマで「考えたいこと」を設定してください。
暮らしやすいまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たつのごお手洗い、きれいになってgood</li> <li>・子育て世代を呼び込む。東京から、住宅費</li> <li>・長い移動→金銭面（不）</li> <li>・都心とは遠い。時間もかかる。</li> <li>・空き家の活用→公的施設</li> </ul>
0才～18才まで切れ目ない居場所づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学童保育の時間拡大</li> <li>・小学校が朝から開放されている</li> <li>・地域みんなで子育て</li> <li>・コミュニティセンターの活用</li> <li>・進む高齢化→高齢者が交わる施設・イベント（自治会など）</li> <li>・コミュニティ館 etc.</li> <li>・預け先がもっとほしい</li> <li>・放課後の学校開放</li> </ul>
男性社会の脱却	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家事・育児の分担をあたり前に</li> <li>・働く女性が安心して2人、3人子育てができる</li> <li>・男性育休、最低1ヶ月</li> </ul>
経済的支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金銭的不安</li> <li>・医療費無償化 0～18</li> <li>・本当の!!教育費無償化 0～18</li> <li>・給食費無償化 保育園～中学 0～15</li> </ul>



## ■グループAの成果②

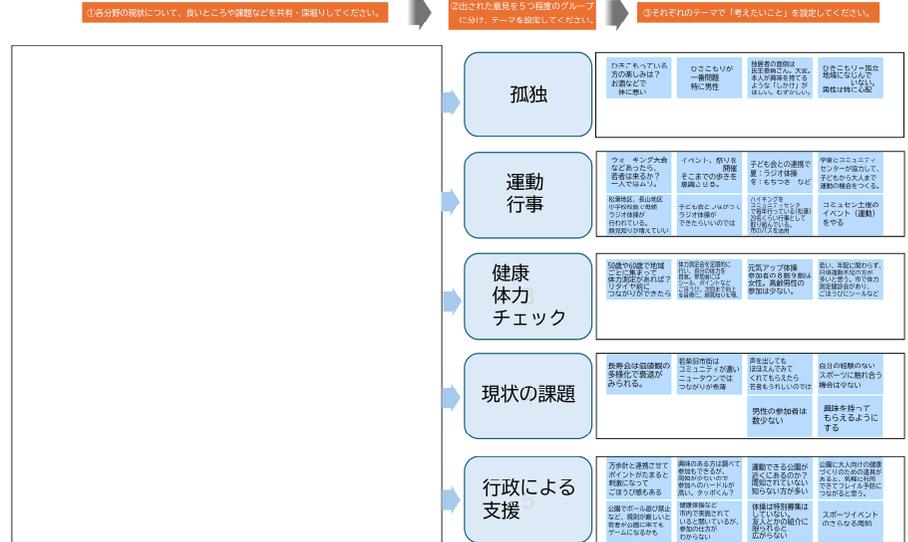
■「すべての世代が学ぶことを楽しむことができるまち」にするためには	
①各分野の現状について、良いところや課題などを共有・深掘りしてください	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大→高、高→中、中→小、小→保のような教えるイベント</li> <li>・年の壁を越えたイベント</li> <li>・各世代の繋がる教室イベントなどの無料化</li> <li>・本を読む楽しさを伝えたい！</li> <li>・A I 普及による学力の低下（特に高校・大学）</li> <li>・「赤ちゃんが学校に来る」事業をしています</li> <li>・公園のメンテナンス</li> </ul>	
②出された意見を5つ程度のグループに分け、テーマを設定してください。	③それぞれのテーマで「考えたいこと」を設定してください。
中高生のきっかけの場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生の交流センター 文京区b-lab</li> <li>・寺子屋</li> <li>・市民活動センターの活用</li> <li>・廃校活用</li> </ul>
オンライン配信学ぶ機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインで学べる、キャリア教育講座</li> <li>・オンライン配信してほしい</li> </ul>
小・中学校の体験学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生のお金の教育</li> <li>・高校生との、女性のキャリア座談会</li> <li>・コミュニティスクールで地域で子育て</li> <li>・学童の充実</li> <li>・子供の自然体験学習</li> <li>・放課後の学校開放</li> <li>・学校が閉鎖的（放課後も開きたい！）</li> </ul>
生涯学びの提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民大学の充実</li> <li>・働く女性のための学びの講座</li> </ul>
具体的なイベント概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インド式九九の普及</li> <li>・たつのこ山でオセロ大会</li> </ul>



## ■グループBの成果①

■「全ての市民が健康で暮らせるよう、健康福祉の取組やスポーツを推進するまち」にするためには	
①各分野の現状について、良いところや課題などを共有・深掘りしてください	
—	
②出された意見を5つ程度のグループに分け、テーマを設定してください。	③それぞれのテーマで「考えたいこと」を設定してください。
孤独	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひきこもっている方の楽しみは？お酒などで体に悪い</li> <li>・ひきこもりが一番問題。特に男性。</li> <li>・独居者の面倒は民生委員さん。大変。本人が興味を持てるような「しかけ」がほしい。むずかしい。</li> <li>・ひきこもり=孤立。地域になじんでいない。男性は特に心配。</li> </ul>
運動行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキング大会などあったら、若者は来るか？一人ではムリ。</li> <li>・イベント、祭りを開催。そこまでの歩きを意識させる。</li> <li>・子ども会との連携で、夏：ラジオ体操、冬：もちつきなど</li> <li>・学童とコミュニティセンターが協力して、子どもから大人まで運動の機会をつくる。</li> <li>・松葉地区、長山地区小学校校庭で毎朝ラジオ体操が行われている。顔見知りが増えていい。</li> <li>・子ども会とつながってラジオ体操ができればいいのでは。</li> <li>・ハイキングをコミュニティセンターで毎年行っている（松葉）。20名くらい行事として取り組んでいる。市のバスを活用。</li> <li>・コミュセン主催のイベント（運動）をやる。</li> </ul>
健康 体力チェック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・50歳や60歳で地域ごとに集まって体力測定があれば？リタイア前につながりができたら。</li> <li>・体力測定会を定期的に行い、自分の体力を自覚。参加者にはシール、ポイントなどごほうび。次回まで向上を目標に。顔見知りも増。</li> <li>・元気アップ体操。参加者の8割9割は女性。高齢男性の参加は少ない。</li> <li>・若い、年配に関わらず、日頃運動不足の方が多いと思う。市で体力測定健診会があり、ごほうびシールなど。</li> </ul>
現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿会は価値観の多様化で衰退がみられる。</li> <li>・若柴旧市街はコミュニティが濃い。ニュータウンではつながりが希薄。</li> <li>・声を出してもほえんでみてくれてもらえたら、若者もうれしいのでは。</li> <li>・自分の経験のないスポーツに触れ合う機会は少ない。</li> </ul>

■第1回 ワークショップのテーマ  
 「全ての市民が健康で暮らせるよう、健康福祉の取組やスポーツを推進するまち」にするためには  
 ○各分野の現状について、良いところや課題などを共有・深掘りしましょう。



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性の参加者は数少ない。</li> <li>・興味を持ってもらえるようにする。</li> </ul>	
行政による支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・万歩計と連携させて、ポイントがたまると刺激になってごほうび感もある。</li> <li>・興味のある方は調べて参加もできるが、周知が少ないので参加へのハードルが高い。タップくん？</li> <li>・運動できる公園が近くにあるのか？周知されていない。知らない人が多い。</li> <li>・公園に大人向けの健康づくりのための道具があると、気軽に利用できてフレイル予防につながると思う。</li> <li>・公園でボール遊びが禁止など、規則が厳しいと若者が公園に来てゲームになるかも。</li> <li>・健康体操など市内で実施されていると聞いているが、参加の仕方がわからない。</li> <li>・体操は特別募集はしていない。友人とかの紹介に限られると広がらない。</li> <li>・スポーツイベントのさらなる周知。</li> </ul>	

## ■グループBの成果②

### ■「支え合いや交流が育まれるまち」にするためには

①各分野の現状について、良いところや課題などを共有・深掘りしてください

②出された意見を5つ程度のグループに分け、テーマを設定してください。

③それぞれのテーマで「考えたいこと」を設定してください。

異文化理解（共生）	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバルな粗点の必要性。取手・つくばは交流国があり、留学とかしている。龍ヶ崎市は相手がいない。</li> <li>外国の方との共生について。ゴミのルールを守らない。どんちゃん騒ぎなどと言われている。</li> <li>外国人との交流について。国際交流協会の方が尽力しているのは知っている。一般人は参加する機会が少ない。</li> <li>まだ龍ヶ崎市では、外国の方との大きな問題は起こってないのではないか。</li> </ul>
ご近所付き合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティづくり</li> <li>住民の意識</li> <li>高齢で班長ができないと町内会を抜ける人、回覧板もいらないと抜ける若い人もいる。ゴミ問題など困る。</li> <li>自治会に入る入らないは住民の意思。やむを得ない部分もある。班長は何歳からは免除とかないから負担もある。</li> <li>北文間、若柴など、古くからの方は顔がわかる。ニュータウンはとなりの方もわからない。</li> <li>地区の班長さんが回ってきた。近所の方が何に困っているのか？情報共有が希薄。住民意識がちがう。</li> </ul>
小中学校と高校・大学の地域とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校・中学校コミュニティセンターを活用したもの。</li> <li>コミュニティセンターで申し込んで身分がわかるようにして、学校の草むしりに参加するとか。防犯もあるけれど、かかわってほしい。</li> <li>小学校での草むしりはPTAの呼びかけである。地域の方と一緒にできたら、学校行事の間口が広がるのでは。</li> <li>子どもの社会性が身につくために自治会でかかわり合いがあることが理想。</li> <li>子どもの登下校の見守りをPTAと地元のボランティアと連携ができれば理想。防犯面とかかねあいがネック。</li> </ul>
歴史・文化の継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロッケのまつり、いがっぺ</li> <li>行事</li> <li>ふれあい祭り。地域で活動する団体が参加。新しく仲間入りするにはハードルが高い。</li> <li>龍ヶ崎の歴史の継承が行われていけたら。つくまいなど。</li> </ul>

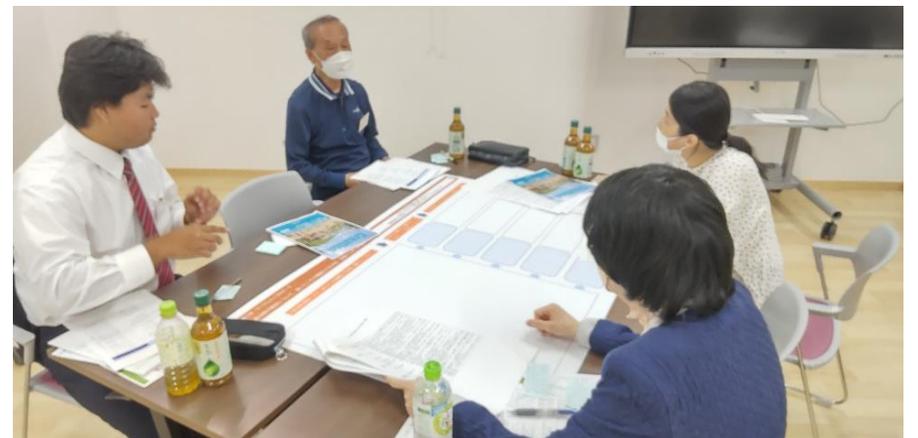
■第1回 ワークショップのテーマ  
○各分野の現状について、良いところや課題などを共有・深掘りしましょう。

「支え合いや交流が育まれるまち」にするためには

①各分野の現状について、良いところや課題などを共有・深掘りしてください。

②出された意見を5つ程度のグループに分け、テーマを設定してください。

③それぞれのテーマで「考えたいこと」を設定してください。



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八坂のまつり、つくまい。流大とのつながり。学生が神輿をかつぐ。</li> </ul>	
交流と共助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代交流。昔のあそび。けん玉、たこあげ</li> <li>・龍ヶ崎コミュニティセンター。小学生と昼休みに交流する日がある。</li> <li>・多世代交流。たこあげ、こま回しなど、日本人の遊びを年配者から教えてもらう機会がない。</li> <li>・農家さんとの交流。親子で草とりのボランティア。草とり体験会があれば、子どもの社会性は身につく。農家の負担になる？</li> <li>・自助、公助、共助。地震などの災害の時、民生委員には限度がある。自治体の脆弱を感じる。</li> </ul>	

## ■グループCの成果①

### ■「全ての企業や事業者の事業活動、起業・創業を支援するとともに、多様な働き方、女性活躍を実現するまち」にするためには

#### ①各分野の現状について、良いところや課題などを共有・深掘りしてください

- ・良いところ：育児休業の増加（男女ともに）
- ・良いところ：福利厚生が充実がきっかけで、多様な働き方ができている。
- ・最近若い男性より若い女性の方が仕事を一生懸命する
- ・人口が減っているため財政がないのでは。現状。
- ・市民をみつめる。参加をふやすこと。人材（人財）外から。
- ・市外から来ている人が多い？半々。色々な人が集まっているところ？働き方は？
- ・起業する人を集める。来てもらう。
- ・首都圏から近い。
- ・若人の働く場所が少ない。
- ・女性の仕事場を増やす。世界に通じる仕事を。
- ・企業と市との協働事業があっても良い。
- ・とにかく起業する人が住みやすい環境を作る。
- ・ネットで仕事ができるので、その仕事場を作る。
- ・現状、旧市街地のシャッターの空屋が多い。
- ・新たなショッピングモール？建設中いっぱい。
- ・大学連携
- ・大学がある。連携しやすい。

#### ②出された意見を5つ程度のグループに分け、テーマを設定してください。

#### ③それぞれのテーマで「考えたいこと」を設定してください。

#### 起業する人の環境・支援を良くする 人財を確保する

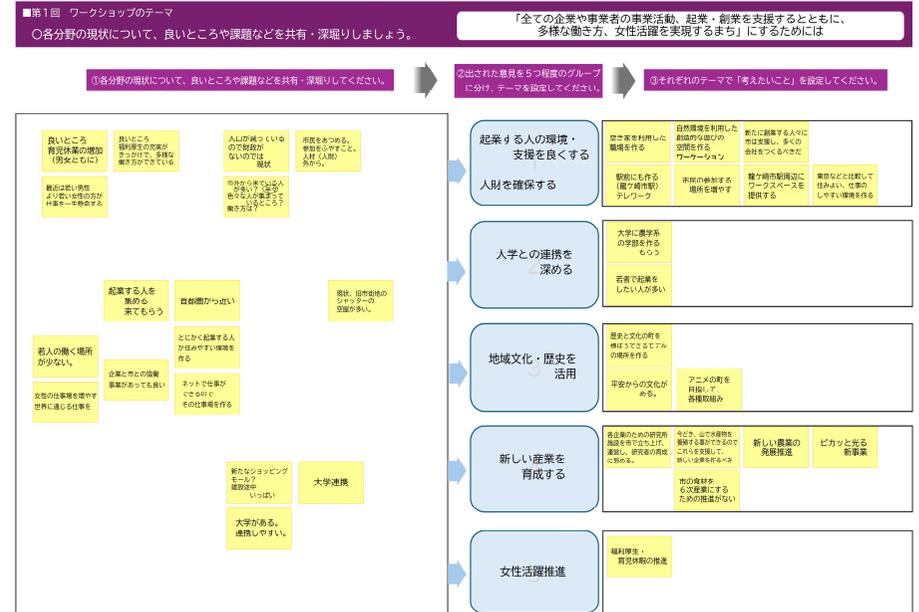
- ・空き家を利用した職場を作る
- ・自然環境を利用した創造的な遊びの空間を作る。ワーケーション。
- ・新たに創業する人々に市は支援し、多くの会社をつくるべきだ
- ・駅前にも作る（龍ヶ崎市駅）テレワーク
- ・市民の参加する場所を増やす
- ・龍ヶ崎市駅周辺にワークスペースを提供する
- ・東京などと比較して住みよい、仕事のしやすい環境を作る

#### 大学との連携を深める

- ・大学に農学系の学部を作る。もらう。
- ・若者で起業をしたい人が多い

#### 地域文化・歴史を活用

- ・歴史と文化の町を標ぼうできるモデルの場所を作る
- ・平安からの文化がある。



	・アニメの町を目指して、各種取り組み	
新しい産業を育成する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各企業のための研究所施設を市で立ち上げ、運営し、研究者の育成に努める。</li> <li>・今どき、山で水産物を養殖する事ができるのでこれらを支援して、新しい企業を作るべき</li> <li>・新しい農業の発展推進</li> <li>・ピカッと光る新事業</li> <li>・市の食材を6次産業にするための推進がない</li> </ul>	
女性活躍推進	・福利厚生・育児休暇の推進	

## ■グループCの成果②

### ■「龍ヶ崎の魅力を高め、地域交流や移住・定住が進むまち」にするためには

#### ①各分野の現状について、良いところや課題などを共有・深掘りしてください

- ・魅力：大学がある、課題：一時的な移住
- ・リモートワークができる環境づくり
- ・地域で活躍する人を育てる。
- ・市民活動者と協働作業がされていない。

#### ②出された意見を5つ程度のグループに分け、テーマを設定してください。

#### ③それぞれのテーマで「考えたいこと」を設定してください。

#### 龍ヶ崎の歴史・文化をPR!

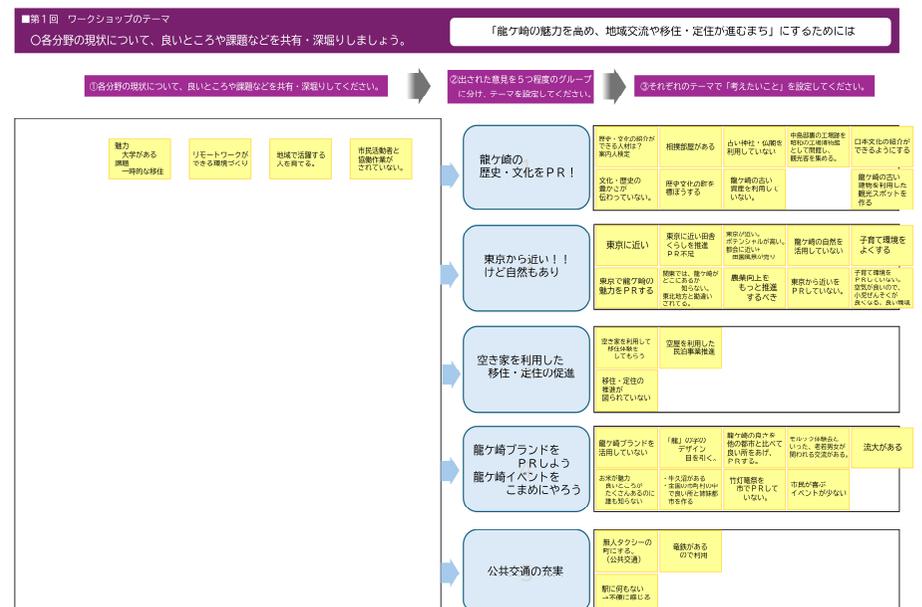
- ・歴史・文化の紹介ができる人材は？案内人検定
- ・相撲部屋がある
- ・古い神社・仏閣を利用していない
- ・中島邸裏の工場跡を昭和の工場博物館として開館し、観光客を集める。
- ・日本文化の紹介ができるようにする
- ・文化・歴史の豊かさが伝わっていない。
- ・歴史文化の町を標ぼうする
- ・龍ヶ崎の古い資産を利用していない。
- ・龍ヶ崎の古い建物を利用した観光スポットを作る

#### 東京から近い！！けど自然もあり

- ・東京に近い
- ・東京に近い田舎くらしを推進。PR不足。
- ・東京が近い。ポテンシャルが高い。都会に近い+田園風景が売り
- ・龍ヶ崎の自然を活用していない
- ・子育て環境をよくする
- ・東京で龍ヶ崎の魅力をPRする
- ・関東では、龍ヶ崎がどこにあるか知らない。東北地方と勘違いされている。
- ・農業向上をもっと推進するべき
- ・東京から近い、をPRしていない
- ・子育て環境をPRしていない。空気が良いので、小児ぜんそくが良くなる、良い環境

#### 空き家を利用した移住・定住の促進

- ・空き家を利用して移住体験をしてみよう
- ・空屋を利用した民泊事業推進
- ・移住・定住の推進が図られていない



<p>龍ヶ崎ブランドをPRしよう 龍ヶ崎イベントをこまめにやろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・龍ヶ崎ブランドを活用していない</li> <li>・「龍」の字のデザイン目を引く。</li> <li>・龍ヶ崎の良さを他の都市と比べて良い所をあげ、PRする。</li> <li>・モルック体験会といった老若男女が関われる交流がある。</li> <li>・流大がある</li> <li>・お米が魅力。良いところがたくさんあるのに、誰も知らない。</li> <li>・牛久沼がある</li> <li>・全国の市町村の中で良い所と姉妹都市を作る</li> <li>・竹灯籠祭を市でPRしていない。</li> <li>・市民が喜ぶイベントが少ない</li> </ul>	
<p>公共交通の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無人タクシーの町にする。(公共交通)</li> <li>・竜鉄があるので利用</li> <li>・駅に何も無い→不便を感じる</li> </ul>	

## ■グループDの成果①

### ■「激甚化する自然災害や日常生活の危険から市民を守るまち」にするためには

①各分野の現状について、良いところや課題などを共有・深掘りしてください

#### 【水害】

- ・川の氾濫時、市民が避難すべき場所について
- ・大雨になると市駅西口界隈が増水浸水する
- ・下水道が壊れる前に、インフラの整備
- ・排水機能が麻痺する事が多い
- ・河川・側溝等の清掃が行き届かない

#### 【防犯】

- ・少し街灯が少なく、暗い所もある

#### 【つながり】

- ・地域コミュニティの分断化
  - ・市駅西口地区の孤立化
  - ・若年層人口が減少しているため、若者による助けが減っている
  - ・防災関係。携わる人の高齢化
  - ・人口が減りつつあるため、共助の低下につながる
  - ・マンション単体で町内ゆえ孤立しやすい
  - ・自治会の転入転出の激しさ
- 【その他】
- ・他市や地域との連携
  - ・消防署が多いので火災の際は駆けつけ時間が短く、早めの対応ができる
  - ・情報共有の大切さ（主に行政から）
  - ・情報発信がLINE からだけでどれだけ浸透しているのか不明

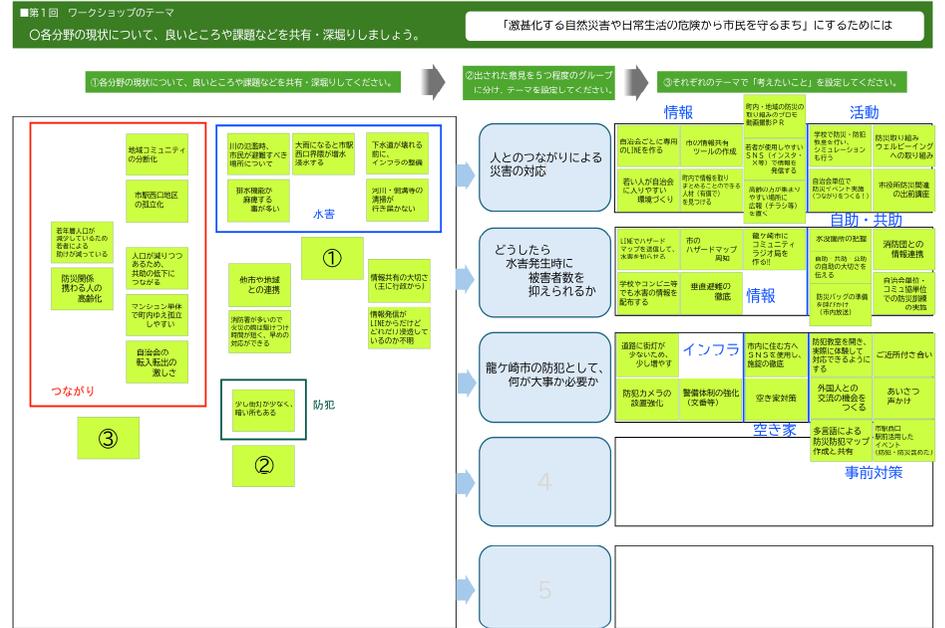
②出された意見を5つ程度のグループに分け、テーマを設定してください。

③それぞれのテーマで「考えたいこと」を設定してください。

人とのつながりによる災害の対応

#### 【情報】

- ・自治会ごとに専用のLINE を作る
  - ・市の情報共有ツールの作成
  - ・若い人が自治会に入りやすい環境づくり
  - ・町内で情報を取りまとめることのできる人材（有償で）を見つける
  - ・町内・地域の防災の取り組みのプロモ動画撮影PR
  - ・若者が使用しやすいSNS（インスタ・X等）で情報を発信する
  - ・高齢の方が集まりやすい場所に広報（チラシ等）を置く
- 【活動】
- ・学校で防災・防犯教室を行い、シミュレーションも行う
  - ・自治会単位で防災イベント実施（つながりをつくる！）
  - ・防災取り組み。ウェルビーイングへの取り組み
  - ・市役所防災関連の出前講座



<p>どうしたら水害発生時に被害者を抑えられるか</p>	<p>【情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LINE でハザードマップを送信して、水害を知らせる</li> <li>・学校やコンビニ等でも水害の情報を配布する</li> <li>・市のハザードマップ周知</li> <li>・垂直避難の徹底</li> <li>・龍ヶ崎市にコミュニティラジオ局を作る!!</li> </ul> <p>【自助・共助】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水没箇所の把握</li> <li>・自助・共助・公助の自助の大切さを伝える</li> <li>・防災バッグの準備を呼びかけ（市内放送）</li> <li>・消防団との情報連携</li> <li>・自治会単位・コミュ協単位での防災訓練の実施</li> </ul>	
<p>龍ヶ崎市の防犯として、何が大事か必要か</p>	<p>【インフラ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路に街灯が少ないため、少し増やす</li> <li>・防犯カメラの設置強化</li> <li>・警備体制の強化（交番等）</li> </ul> <p>【空き家】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内に住む方へSNSを使用し、施錠の徹底</li> <li>・空き家対策</li> </ul> <p>【事前対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯教室を開き、実際に体験して対応できるようにする</li> <li>・外国人との交流の機会をつくる</li> <li>・多言語による防災防犯マップ作成と共有</li> <li>・ご近所付き合い</li> <li>・あいさつ、声かけ</li> <li>・市駅西口駅前活用したイベント（防犯・防災含めた）</li> </ul>	



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅跡地をトラック専用休憩スペースに</li> <li>・既存の制度を強化し、他市にはないものを作る</li> <li>・ご当地ヒーローでアピールして子どもに注目をあびせる</li> <li>・地域通貨電子マネー</li> </ul>	
<p>龍ヶ崎市の移動手段に何を加えるべきか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部へのアクセス整備（高速道路・一般道・電車等）</li> <li>・既存のバスや電車の時間を少しだけでも増やす</li> <li>・竜ヶ崎線の本数増加。バス路線増加。</li> <li>・高速道路の拡充</li> <li>・国道6号の整備</li> <li>・コミュニティタクシー</li> <li>・電動自転車とヘルメットの貸し出し</li> <li>・人力車トゥクトゥク</li> <li>・バス停の近くに自動販売機等を設置する</li> <li>・高齢者の代替移動手段の拡充（乗合タクシーの減額）</li> <li>・コンパクト化（各地域で）</li> <li>・コミバス時刻表のアプリ化と周知</li> </ul>	